

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

7月定例会

7月13日(木)、7月定例会(暑気払い)を開催した。午後6時、昼間の熱気が残る中、会員22名とオブザーバー3名が集まった。会場は、幸区の住宅街にある老舗「都鮎」。刺身から鮎、キンキの煮つけ等々、洗練された美味の数々に舌鼓を打ちながら会は和やかに進んだ。総勢25名がひとつのテーブルを囲み、創設期からのメンバーと新しいメンバーが共に語り親睦を深めた。途中、都鮎の大將が部屋を真っ暗にし、ひれ酒に着火するというパフォーマンスを披露してくれた。闇に青い火が浮かび上がると、場はいっきに盛り上がった。

菅原会長からは、10月の国内視察会(広島)の詳しい内容説明があり参加を促した。護衛艦「かが」への乗船視察は貴重な体験の機会であり、皆の興味を引いた。また会の中ごろ



活気に満ちた暑気払いでした！

には、各会員の1分間スピーチを行い、事業やプライベートの近況報告や今後の抱負が語られ、会員同志の距離が縮まった。中締めは、皆で力強い関東一本締で、盛会裏のうちに散会となった。猛暑を吹き飛ばす、実にエネルギッシュな暑気払いであった。

7月分科会

7月6日(木)、午後6時30分より中原市民館第3、4会議室にて7月分科会を開催した。会員5名、和光大学生8名の参加を得た。

今回は、「川崎市産業振興財団の取り組みについて」というテーマで、公益財団法人川崎市産業振興財団 産業支援部 新産業振興課長 山関章司氏を講師に迎えた。

中小企業を支援する同団の活動について、また人材育成についてお話しいただき、一同興味深く耳を傾けた。その後の懇親会では、さらに詳しく話を伺い有意義な分科会となった。



分科会で興味深く耳を傾ける会員

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191